

第3回鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議 議事録

| | |
|-------|---|
| 件名 | 第3回 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議 |
| 日時 | 平成25年1月28日 15時00分～16時30分 |
| 場所 | 市役所東別館11階 1101会議室 |
| 出席者 | 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議委員 14名 |
| 会次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討連絡会議結果 3. 検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・概算事業費について ・新設路線の需要見通しについて 4. その他 5. 閉会 |
| 主な意見等 | <p>【主な意見】 ※文中の○は委員を、●は事務局を、(臨)は臨港道路を示す。</p> <p>○5つの検討ルートは全て、ドルフィンポートとウォーターフロントパークの間にある(臨)南北ふ頭線を通るルートになっているが、2車線道路で歩道もあまり広くない。一方、(臨)本港区線は比較的 道路空間に余裕があることから、(臨)本港区線への路線新設についても検討していただきたい。</p> <p>●提案のルートについて協議するためには、図面の作成など時間を要することから、検討・調整を行うための時間をいただきたい。</p> <p>○追加ルートの検討を含め、最終的にルートの絞込みをどのようにするのか方向性が分かりにくい。</p> <p>●今年度は「交通処理」や「概算事業費、需要見通し」の観点から検討しているが、最終的な検討ルートの整理として、昨年度の評価項目である「観光利便性」と「導入空間」を含め総合的に評価していきたいと考える。</p> <p>○(臨)本港区線など南北方向の自動車交通量は多いことから、歩道敷内の軌道整備で検討することのだが、断面交通量から算出される混雑度は問題ないと考えられるが、現実的には交差点における左折車両等の交通への影響が大きいので道路管理者や公安委員会等と十分協議を行う必要がある。</p> <p>○みなと大通からウォーターフロントに繋がる経路に路線が新設される場合、(臨)本港区線に新たに信号交差点が整備されることになるが、周辺の交差点との距離が短いことから交通処理に配慮する必要がある。</p> <p>○何を目的として事業を実施するのかという点についても、どこまでの事業費が許容範囲かということに関係してくると思うので、検討を深めてほしい。</p> |